



晴天の心

立教185年9月号
大阪府富田林市寿町4-9-10
URL:www.tomiishi.net
TEL:0721-23-3466 090-5243-4669



月次祭 9月19日(月・祝) 午前10時～
婦人会例会 9月9日(金) 午前10時～



残暑お見舞い申し上げます
去る6月30日に3組感謝のつどいを3年越しで開催いたしました。今回プログラムとして当初は陽気ぐらし講座を開催する予定でしたがまだ開催の見込みが立ちませんので、動画サイトの陽気チャンネルより教祖逸話編に関

連するお話を見ていただきました。今動画サイトの内容は本当に充実していますので信仰まもない方からベテランの教会長さんまで心に残る内容がたくさんあります。また普段なかなか聴くことのできない諸先生の身のあるお話に自然とところが勇みます。3組としては繰り返し見ていただくと機会を設けたいと考えています。9月はにいがけ強調月です。各々の友人や教会につながる人にも動画サイトの心に残ったお話を紹介するのも今だからできるにいがけの一つだと思えます。どうぞこの機会に一度見て聴いて拡げていきましょう。サイトへはQRコードを読み取ると閲覧できます。おすすめは、「逸話編の世界を旅する」講師 茶木谷吉信先生のシリーズが、とても今にマッチした内容で、今生きている私たちにあわせた話になっています。スマホでも見ることが出来ますので、是非ご覧ください。



立教185年 90周年

全教一斉ににいがけデー

身近な人へ 御教えを伝えよう

期間 9月28日(水) 29日(木) 30日(金)

声をかけ合い 一人でも多くの実働を

天理教布教部

今月はにいをがけ強調月です。

各地で神名流しや路傍講演が実施されます。また、戸別訪問も実施されています。神名流しや路傍講演、戸別訪問といったにいをがけ活動が苦手な人も多くいます。私も苦手です。ただ、ここ20年この期間に富田林駅前で行う機会を得ておこなってきました。いつもそうですが、はじめるまではちょっと勇気が必要です。おぢばを遙拝してこれから精一杯努めさせていただきますと願い、
第一声 よろづよのせかいいちれつみはらせど～
と、歌い出せば後は神様に任せるだけ精一杯時間内、神名を流します。怪訝な顔で見ていく人もあれば、お辞儀をしていく人、うるさそうに足早で通り過ぎる人。様々です。時々声をかけてくる人もいます。終えたときには、なぜか清々しい気持ちになりますから、不思議ですね。今年はずいぶりに、にいをがけデー再開です。

四二 人を救けたら

明治八年四月上旬、福井県山東村菅浜の榎本栄治郎は、娘きよの気違いを救けてもらいたいと西国巡礼をして、第八番長谷観音に詣ったところ、茶店の老婆から、「庄屋敷村には生神様がござる。」と聞き、早速、三輪を経て庄屋敷に到り、お屋敷を訪れ、取次に頼んで、教祖にお目通りした。すると、教祖は、「心配は要らん要らん。家に災難が出ているから、早ようおかえり。かえったら、村の中、戸毎に入り込んで、四十二人の人を救けるのやで。なむてんりわうのみこと、と唱えて、手を合わせて神さんをしっかりと拝んで廻わるのやで。人を救けたら我が身が救かるのや。」と、お言葉を下された。



栄治郎は、心もはればれとして、庄屋敷を立ち、木津、京都、塩津を経て、菅浜に着いたのは、四月二十三日であった。

娘は、ひどく狂うていた。しかし、両手を合わせて、

なむてんりわうのみこと

と、繰り返して願うているうちに、不思議にも、娘はだんだんと静かになって来た。それで、教祖のお言葉通り、村中にいけがけをして廻わり、病人の居る家は重ねて何度も廻わって、四十二人の平癒を拝み続けた。

すると、不思議にも、娘はすっかり全快の御守護を頂いた。方々の家からもお礼に来た。全快した娘には、養子をもろうた。

栄治郎と娘夫婦の三人は、救けて頂いたお礼に、おぢばへ帰らせて頂き、教祖にお目通りさせて頂いた。教祖は、真っ赤な赤衣をお召しになり、白髪で茶せんに結うておられ、綺麗な上品なお姿であられた、という。

五二 琴を習いや

明治十年のこと。教祖が、当時八才の辻とめぎくに、「琴を習いや。」と、仰せになったが、父の忠作は、「我々の家は百姓であるし、そんな、琴なんか習わせても。」と言って、そのままにして、日を過ごしていた。

すると、忠作の右腕に、大きな腫物が出来た。それで、この身上から、「娘に琴の稽古をさせねばならぬ。」と気付き、決心して、郡山の町へ琴を買いに行った。

そうして、琴屋で、話しているうちに、その腫物が潰れて、痛みもすっきり治まった。それで、「いよいよこれは、神様の思わくやったのや。」と、心も勇んで、大きな琴を、今ままで痛んでいた手で肩にかついで、帰路についた、という。

五三 この屋敷から

明治十年、飯降よしゑ十二才の時、ある日、指先が痛んで仕方がないので、教祖にお伺い上がったところ、「三味線を持て。」と、仰せになった。それで、早速その心を定めたが、当時榎本の高品には、三味線を教えてくれる所はない。「郡山へでも、習いに行きましょうか。」と、お伺いすると、教祖は、「習いにやるのでもなければ、教えに来てもらうのでもないで。この屋敷から教え出すものばかりや。世界から教えてもらうものは、何もない。この屋敷から教え出すので、理があるのや。」と、仰せられ、御自身で手を取って、直き直きお教え下されたのが、おつとめの三味線である。

五五 胡弓々々

明治十年のこと。当時十五才の上田ナライトは、ある日、たまたま園原村の生家へかえっていたが、何かのはずみで、身体が何度も揺れ動いて止まらない。父親や兄がいくら押えても、止まらず、一しょになって動くので、父親がナライトを連れて、教祖の御許へお伺い行くと、「胡弓々々。」と、仰せになった。それで「はい。」とお受けすると、身体の揺れるのが治まった。こうして、胡弓をお教え頂くことになり、おつとめに出させて頂くようになった。



本部神館で回廊ひのきしんに取り組む子供たち（7月26日）



屋外施設では、水遊びに興じる（7月31日）



巨大迷路を探索（7月30日）



鼓笛隊の仲間たちと、練習の成果を披露（7月31日）

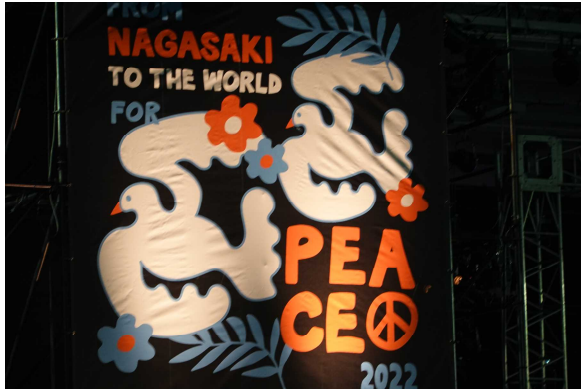
夏のおちばに子供の笑顔

「夏休みこどもひのきしん」親里での受け入れ（7月26日～8月28日）

天理教少年会本部ではこの夏、天理教の教会や地域、家庭において、子供たちが毎日を元気に過ごせることへの感謝の心を持ち、進んでひのきしんに取り組めるように「夏休みこどもひのきしん」を提唱している。こうしたなか、教会本部（天理市）に「こどもひのきしんセンター」が開設。子供たちはおちば帰りの喜びを感じながら、ひのきしんに汗を流していた。このほか、教会本部周辺を会場に「お楽しみ行事」も実施。元気いっばいに夏休みのひと時を楽しんでいた。



QRコード



八月のある日久しぶりに野外コンサートに行ってきました。

従来コンサートは事前にチケットをネットや電話で購入して簡易書留などで送られてきた紙に会場や席番などが書かれていました。まあ、今でもコンサートホールではそれが普通だとは思いますが、また、一般的だと思います。

今回の場合、事前にインターネットの特設サイトから専用のアプリをインストールして、そのアプリからチケットを購入。購入したチケットは、コンサートの直

前まで見ることは出来ない代わりに、購入したという履歴はアプリ内に残っています。コンサートの1週間前に、アプリに通知が届いてチケットを実体化？QRコードが表示されます。そのQRコードには開催日や時間と席種と席番が表示されています。複数チケットを購入した場合は、そのチケットのスクリーンショットを撮り保存して一緒に行く人のスマホに何らかの形で送ってその人のスマホに保存してもらいます。送った時点でアプリからはその分のQRコードは見る事が出来なくなっています。

(ここまで書いて全く何のことか解らない人もいるんでしょうね)

コンサートの当日は、入場ゲートでQRコードを見せて入場します。このときスクリーンショットでQRコードを保存していると電波状態にかかわらず問題なく入場できるのですが、保存していなくて電波が届かないところのようなときは、入れないというアクシデントが待っています。電波が届かないなんて無いと思いますが、先日のauの通信障害の時も、保存していないとQRコードが表示できないのでトラブルとなったようです。

このQRコード、席種もデータとして持っていますので、このイベントでもらうことの出来る各席種別の限定グッズをもらうときも必要で、該当しない席の場合は、ブザーと鳴り受け取れない仕掛けとなっていました。人の目で確認するのではなく、バーコードリーダーで確認するので人のミスが減りますね。このコンサートの場合、私たちの席種では、イベントオリジナルTシャツとドリンク、そして再生アルミのコップをもらえました。

再生アルミのコップは今後、紙コップに代わって活用されていく方向だそうです。

紙コップは燃えるゴミになりますが、アルミカップは空き缶と同じように回収してリサイクルすることが可能だからだそうです。久しぶりの野外でのコンサートでしたが、時代の変化と新しい取り組みに驚かされるとともに、ものを大切に再利用することを上手く訴えてほしいと思いました。

草刈り機

先週の草刈りで今までの草刈り機のパワー不足がよくわかった。

暑さのためにバッテリーの持続時間も短いし初めてと言うことでプラスチックの1枚刃ではじめたけどやっぱり少し硬かったり深いと刈れない・・・

ので、思い切って新機種追加導入。

昨日、初始動。

やっぱり金属のチップソーは強い。モーターもバッテリーもレベルアップしたので多少堅くても関係なく刈れる。

けっこう重いけど、先端が軽いので意外と長い時間使える。

これは家の除草ひのきしんが進みます。

ハイコーキって、日立工機だったのね。

